

第2次黒部総合振興計画審議会

第3回第5部会【教育・文化】

議事概要

日時：平成29年7月3日（月）14:00～
場所：黒部市役所 203 会議室
出席者：委員6名（欠席1名）、専門委員1名（欠席なし）
幹事3名（欠席なし）、計画主任5名（欠席なし）、事務局4名

次第

1. 開会
2. 部会長あいさつ
3. 報告事項
 - (1) 前回審議会以降の経過について
 - (2) 各委員からの意見・提言について
4. 協議事項
 - (1) 施策区分別の個別事業について
 - (2) 各個別事業の協働体制、市民等へのメッセージ、主な指標と目標値について
5. その他
6. 閉会

主な発言（検討）内容

○：委員からの質問・意見、●：事務局の意見・回答

部会長あいさつ

○部会長：本日はご多用中にも関わらず、第3回部会にご出席いただき感謝申し上げます。昨年度は、基本構想の内容について審議してきたが、本年度は基本計画を中心に議論いただきたい。先日の審議会において今年度のスケジュールが示されたが、11月16日の第2次黒部市総合振興計画の取りまとめに向けて、部会は全3回開催される予定である。黒部市の未来創造に向けた計画策定にご協力いただきたい。また、先の審議会でもご紹介があったが、専門委員が上野委員に変更となっている。上野委員はこれま

で旧宇奈月町を含め黒部市の小中学校に勤務したご経験を有するとともに、黒部国際化教育特区の立ち上げについても見識があり、幅広い観点からご指導いただけるかと思う。では、一言、ご挨拶をいただきたい。

- 上野専門委員：私自身は入善町が出身であるが、黒部市には23年間勤めさせていただいており、教員生活の3分の2の期間お世話になっている。よろしくおねがい申し上げます。

報告事項

(資料1：前回審議会以降の経過について、
資料2：各委員からの意見・提言について、事務局より説明)
委員からは特に意見なし

協議事項

(資料3：施策区分別の個別事業について、事務局より説明)

- 部会長：協議に入る前に基本構想の修正案において「国際化教育推進事業」「特色ある英会話教育の推進」が「特色ある英語教育の推進」に変更となっているので、その点について事務局より説明をお願いしたい。
- 計画主任：第1次総合振興計画では学校教育環境整備事業の国際理解教育の推進に該当していた。今回、特色のある教育を頭出しし、英会話科授業に関連する事業を整理した結果、施策中分類を国際化教育推進事業、事業メニューを特色ある英語教育の推進として変更させていただいた。
- 部会長：つまり、英会話科授業だけでなく、個別事業を束ねることで広く英語教育を実施するという意図か。
- 計画主任：そのとおりである。サマーキャンプや国際化教育の推進なども含めたまとめ方をしている。
- 部会長：黒部市の特色として英会話科として進めてきたと思うが、それを続けつつ、他の事業も実施していくということかと思う。国際化教育特区から教育課程特例校となったが、教育課程特例校の教科はどのように出すのか。
- 計画主任：基本的には英会話科で申請する予定であるが、小学校5年6年は協議、検討中である。
- 部会長：学校施設等整備事業において、中学校大規模改造事業は後期の平成35年も該当することとなっているが、どのような意図か。
- 計画主任：鷹施中学校の解体を想定した期間である。
- A委員：事業メニューの「中学校設建設事業」は「中学校建設事業」の誤りか。

- 事務局：表記ミスである。訂正をお願いしたい。
- 部会長：英語検定料補助事業は対象が3級以上となっているが、4級の受験には補助は出ないのか。
- 計画主任：中学校卒業時点は3級が基準となるため、3級以上を対象としている。
- B委員：中学2年生が3級以上を受験する時は対象とならないのか。
- 計画主任：3年間で一度を対象としているので、中学2年生でも対象となるが、一度補助を受けると3年生になった時には補助は受けられないこととなる。
- 部会長：帰国児童生徒教育支援事業の事業概要の文章に「また・」との表記があるが「また、」の間違いではないか。また、高校生海外派遣事業補助の事業概要に新川地区の高校となっているが限定する意図は何か。
- 計画主任：新川地区と記載しているが、実態は桜井高校のみが該当する。
- C委員：生涯学習拠点施設の整備について前期と後期で期間を分けて実施していくこととなっているが、どの程度具体的に話が進んでいるのか教えてほしい。
- 計画主任：現在、地区要望をお聞きしているが、具体的にどこの公民館が対象となるか検討段階である。
- 総務企画部長：庁内における財政見通しを立てて精査をしている段階である。現在の試算では、5、6億円オーバーしている段階であり、事業によっては前期に対象とならず、後期もしくは第3次総合振興計画に実施する事業も出てくる可能性があることをご理解いただきたい。
- C委員：(仮称)くろべ市民交流センターは生涯学習課以外にも担当があるかと思うがいかが。
- 計画主任：図書館や子育て支援などの機能もあり、各担当部署と連携して進めていく。
- 部会長：収蔵美術作品の充実について、平成32年と平成37年と期間を決めているが、予算の関係で5年に一度、購入したいとの意図か。
- 計画主任：程度にもよるが、概ね、5年に一度、購入したいという思いである。
- C委員：埋蔵文化財関連資料(遺物等)の保管場所の確保は、どこを候補と考えているのか。
- 計画主任：現在は鷹施中学校向かいの旧寄宿舍に置いている。空いた施設がない中ではあるが、継続的に検証していきたいという思いであり、具体化までは進んでいない。
- 部会長：公共施設再編に向けた宇奈月体育センターの施設の整備について、事業概要には、施設修繕と解体の記載があり、どのような意図か教えてほしい。
- 計画主任：宇奈月体育センターは老朽化が著しく、公共施設再編計画の中では、後々に解体していくこととなっているが、解体までの期間は利用形態に合わせて可能な限り修繕し、活用していくという意味で記載している。
- 部会長：各種スポーツ教室の開催における事業概要の文章は「…のため」が重複している。
- 計画主任：修正させていただきたい。

- D委員：国際交流については、多くの方が海外に出る機会があれば良いと思う。
- 部会長：その他、意見はないか。無いようであるので、次の議題について事務局より説明をお願いしたい。

(資料4：各個別事業の協働体制、市民等へのメッセージ、主な指標と目標値について、事務局より説明)

- 部会長：資料4には、英語サマーキャンプ開催事業とあるが資料3の英会話サマーキャンプ開催事業と表記が異なる。どちらが正しい表記なのか。
- 計画主任：資料3の名称が正しい表記である。訂正をお願いしたい。
- 部会長：目標指標の中学3年生の英検3級以上の取得率は30%程度とっていたが、数値として間違っていないのか。
- 計画主任：平成27年度は30%を超えていたが、平成28年度は19.8%に減少している。
- E委員：平成28年度の受験者数はどの程度か。
- A委員：昨年度は受験率が低かった。本校の場合であるが、今年度は現在のところ3年生138名中79名が受験する予定である。締め切りまでに60%まで伸びるのではないかと思う。
- E委員：すべてが英検3級か。
- A委員：2級が一名と準2級が十数名いる。
- E委員：不登校生徒の対応において、ほっとスペースは、どの程度利用されているのか。
- A委員：桜井中学からは3年生は2名、他校からは1名ないし2名程度かと思う。
- 計画主任：職員は3名いる。昨年度の生徒は3名であり、現在の利用は資料がなくわからない。
- 部会長：復帰する生徒はいないのか。
- A委員：完全復帰は残念ながらない。ただ、ほっとスペースが空いていない月曜には男子生徒は必ず学校に登校するが、相談室で勉強している状況である。
- E委員：ほっとスペースは充実した施設であり、しっかり機能していることに興味している。
- D委員：畑で農作業をしている時、中学校から先生が生徒を送迎している。黒部市には、そのような生徒はたくさんいるのか。
- A委員：おそらく、相談室登校の生徒かと思う。
- 部会長：学校司書配置充足率の現況割合が良く理解できないので教えていただきたい。
- 計画主任：学校13校に学校司書が7人配置されているため、53.8%となっている。
- 部会長：10年後の子どもの数は減少していくと思うが、親学び講座参加者数や放課後子ども教室参加者数の目標が高いように思うが、いかがか。
- 総務企画部長：子どもの数は5年後には2,000人程度となる見込みであるが、延べ人

数を増やしたいという意図である。

- 部会長：一人当たりの図書貸出冊数の目標は達成できる見込みはあるのか。
- 計画主任：平成28年度実績と平成27年実績を比べると黒部市立図書館、宇奈月館の一日当たりの貸出冊数、人数ともに増加している。その中での推測値であるが、5年後の目標値に挙げた5.4冊は、現在の魚津市における値と同等の数値であり、5年後には達成させたいと考えている。
- 部会長：コラーレの利用者数の目標についてはいかがか。
- 事務局：コラーレは開館当初は約17万人であったが、現在は15万人弱で推移しており、魅力を高め、目標達成を図りたい。
- 部会長：国際交流活動による交流回数は現況値の130回でも多いと思う。人を増員することを考えているのか。
- 事務局：以前は1日に保育所2箇所を回ることもあり、対応は可能と考えている。より市民と触れ合う機会の拡大を図ることを念頭に、目標値を設定させていただいた。
- C委員：ホームページの多言語化の対象にはポルトガル語が挙げられている。姉妹都市のオランダはポルトガル語なのか。
- E委員：オランダ語である。
- 事務局：ポルトガル語については、以前、多くの家族連れブラジル人が労働目的で市内に移住してきたためである。現在は、県内の他市も含め、ブラジル人は少なくなっている。
- D委員：黒部名水マラソンは黒部市だけの予算で実施しているが、富山市や高岡市は県からの補助も受けて実施している。ゲストランナーに招聘されている高橋尚子氏も良いと思うが、ケンブリッジ飛鳥やサニブラウン等をゲストとして招聘すれば子どもたちも喜ぶのではないかと思う。
- 計画主任：高橋尚子氏は、市民ランナーと積極的に交流してくれており、参加者からの満足度も高く、引き続き招聘したいと考えている。短距離が賑わっており、D委員の話も分かるが、時期的に短距離選手は勝負時期となるため、ゲストと呼ぶことは難しい。また、余談ではあるが、7,000人以上が参加する大会の満足度は全国2位の評価であり、皆様方のおもてなしの力かと思う。
- 部会長：E委員から意見はないか。
- E委員：文科省にて新しい学習指導要領の見直しが検討されている。今後、学校教育が慌ただしくなるかと思う。その中で開かれた教育課程が謳われており、学校教育の中身を広く地域や事業者に共有してほしいとの願いがある。地域全体で子どもたちを見守り、地域の行事などへの参加など、ますます力をいれてほしいと思う。
- 部会長：では、その他について事務局より説明をお願いしたい。
(次回の部会について、事務局より説明)

○部会長：その他意見はないか。無いようであるので、進行を事務局にお返りする。

閉会

●事務局：以上をもって、第3回部会を閉会する。第4回部会は、8月1日（火）10:00から開催する。

以上